授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	憲法理論	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	憲法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	憲法総論（憲法の意味・日本憲法史）
	2	国民主権・平和主義
	3	基本的人権（１）自由権
	4	基本的人権（２）社会権・参政権
	5	基本的人権（３）新しい人権・法の下の平等
	6	統治機構（１）権力分立・国会
	7	統治機構（２）内閣・裁判所
	8	財政・地方自治・憲法改正
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民法総則	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	民法総則の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	通則
	2	人
	3	法人
	4	物
	5	法律行為（１）
	6	法律行為（２）
	7	代理
	8	時効
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	憲法理論演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	３８時間	
授業コマ数	１９コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	憲法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	憲法の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民法総則演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	３８時間	
授業コマ数	１９コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	民法総則の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	民法総則の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	法律ビジネス科２年制			
履修年次	１年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	演習			
授業時間	１７０時間			
授業コマ数	８５コマ（１コマ１２０分）			
授業概要	１年次実施科目の知識をアウトプットし基礎知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	１年次実施科目の問題演習につき、６割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	答案演習（１）	44	答案演習（２２）解説
	2	答案演習（１）解説	45	答案演習（２３）
	3	答案演習（２）	46	答案演習（２３）解説
	4	答案演習（２）解説	47	答案演習（２４）
	5	答案演習（３）	48	答案演習（２４）解説
	6	答案演習（３）解説	49	答案演習（２５）
	7	答案演習（４）	50	答案演習（２５）解説
	8	答案演習（４）解説	51	答案演習（２６）
	9	答案演習（５）	52	答案演習（２６）解説
	10	答案演習（５）解説	53	答案演習（２７）
	11	答案演習（６）	54	答案演習（２７）解説
	12	答案演習（６）解説	55	答案演習（２８）
	13	答案演習（７）	56	答案演習（２８）解説
	14	答案演習（７）解説	57	答案演習（２９）
	15	答案演習（８）	58	答案演習（２９）解説
	16	答案演習（８）解説	59	答案演習（３０）
	17	答案演習（９）	60	答案演習（３０）解説
	18	答案演習（９）解説	61	答案演習（３１）
	19	答案演習（１０）	62	答案演習（３１）解説
	20	答案演習（１０）解説	63	答案演習（３２）
	21	答案演習（１１）	64	答案演習（３２）解説
	22	答案演習（１１）解説	65	答案演習（３３）
	23	答案演習（１２）	66	答案演習（３３）解説
	24	答案演習（１２）解説	67	答案演習（３４）
	25	答案演習（１３）	68	答案演習（３４）解説
	26	答案演習（１３）解説	69	答案演習（３５）
	27	答案演習（１４）	70	答案演習（３５）解説
	28	答案演習（１４）解説	71	答案演習（３６）
	29	答案演習（１５）	72	答案演習（３６）解説
	30	答案演習（１５）解説	73	答案演習（３７）
	31	答案演習（１６）	74	答案演習（３７）解説
	32	答案演習（１６）解説	75	答案演習（３８）
	33	答案演習（１７）	76	答案演習（３８）解説
	34	答案演習（１７）解説	77	答案演習（３９）
	35	答案演習（１８）	78	答案演習（３９）解説
	36	答案演習（１８）解説	79	答案演習（４０）
	37	答案演習（１９）	80	答案演習（４０）解説
	38	答案演習（１９）解説	81	答案演習（４１）
	39	答案演習（２０）	82	答案演習（４１）解説
	40	答案演習（２０）解説	83	答案演習（４２）
	41	答案演習（２１）	84	答案演習（４２）解説
	42	答案演習（２１）解説	85	まとめ
	43	答案演習（２２）		
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律ビジネス科２年制			
履修年次	１年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	演習			
授業時間	１７０時間			
授業コマ数	８５コマ（１コマ１２０分）			
授業概要	１年次実施科目の知識をアウトプットし応用知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	１年次実施科目の問題演習につき、６割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	答案演習（１）	44	答案演習（２２）解説
	2	答案演習（１）解説	45	答案演習（２３）
	3	答案演習（２）	46	答案演習（２３）解説
	4	答案演習（２）解説	47	答案演習（２４）
	5	答案演習（３）	48	答案演習（２４）解説
	6	答案演習（３）解説	49	答案演習（２５）
	7	答案演習（４）	50	答案演習（２５）解説
	8	答案演習（４）解説	51	答案演習（２６）
	9	答案演習（５）	52	答案演習（２６）解説
	10	答案演習（５）解説	53	答案演習（２７）
	11	答案演習（６）	54	答案演習（２７）解説
	12	答案演習（６）解説	55	答案演習（２８）
	13	答案演習（７）	56	答案演習（２８）解説
	14	答案演習（７）解説	57	答案演習（２９）
	15	答案演習（８）	58	答案演習（２９）解説
	16	答案演習（８）解説	59	答案演習（３０）
	17	答案演習（９）	60	答案演習（３０）解説
	18	答案演習（９）解説	61	答案演習（３１）
	19	答案演習（１０）	62	答案演習（３１）解説
	20	答案演習（１０）解説	63	答案演習（３２）
	21	答案演習（１１）	64	答案演習（３２）解説
	22	答案演習（１１）解説	65	答案演習（３３）
	23	答案演習（１２）	66	答案演習（３３）解説
	24	答案演習（１２）解説	67	答案演習（３４）
	25	答案演習（１３）	68	答案演習（３４）解説
	26	答案演習（１３）解説	69	答案演習（３５）
	27	答案演習（１４）	70	答案演習（３５）解説
	28	答案演習（１４）解説	71	答案演習（３６）
	29	答案演習（１５）	72	答案演習（３６）解説
	30	答案演習（１５）解説	73	答案演習（３７）
	31	答案演習（１６）	74	答案演習（３７）解説
	32	答案演習（１６）解説	75	答案演習（３８）
	33	答案演習（１７）	76	答案演習（３８）解説
	34	答案演習（１７）解説	77	答案演習（３９）
	35	答案演習（１８）	78	答案演習（３９）解説
	36	答案演習（１８）解説	79	答案演習（４０）
	37	答案演習（１９）	80	答案演習（４０）解説
	38	答案演習（１９）解説	81	答案演習（４１）
	39	答案演習（２０）	82	答案演習（４１）解説
	40	答案演習（２０）解説	83	答案演習（４２）
	41	答案演習（２１）	84	答案演習（４２）解説
	42	答案演習（２１）解説	85	まとめ
	43	答案演習（２２）		
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律答案演習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	１３０時間
授業コマ数	６５コマ（１コマ１２０分）
授業概要	２年次実施科目の知識をアウトプットし基礎知識の定着を図る。
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。
達成目標	２年次実施科目の問題演習につき、６割の正答率を目指す。
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	

授業計画

1	答案演習（１）	34	答案演習（１７）解説
2	答案演習（１）解説	35	答案演習（１８）
3	答案演習（２）	36	答案演習（１８）解説
4	答案演習（２）解説	37	答案演習（１９）
5	答案演習（３）	38	答案演習（１９）解説
6	答案演習（３）解説	39	答案演習（２０）
7	答案演習（４）	40	答案演習（２０）解説
8	答案演習（４）解説	41	答案演習（２１）
9	答案演習（５）	42	答案演習（２１）解説
10	答案演習（５）解説	43	答案演習（２２）
11	答案演習（６）	44	答案演習（２２）解説
12	答案演習（６）解説	45	答案演習（２３）
13	答案演習（７）	46	答案演習（２３）解説
14	答案演習（７）解説	47	答案演習（２４）
15	答案演習（８）	48	答案演習（２４）解説
16	答案演習（８）解説	49	答案演習（２５）
17	答案演習（９）	50	答案演習（２５）解説
18	答案演習（９）解説	51	答案演習（２６）
19	答案演習（１０）	52	答案演習（２６）解説
20	答案演習（１０）解説	53	答案演習（２７）
21	答案演習（１１）	54	答案演習（２７）解説
22	答案演習（１１）解説	55	答案演習（２８）
23	答案演習（１２）	56	答案演習（２８）解説
24	答案演習（１２）解説	57	答案演習（２９）
25	答案演習（１３）	58	答案演習（２９）解説
26	答案演習（１３）解説	59	答案演習（３０）
27	答案演習（１４）	60	答案演習（３０）解説
28	答案演習（１４）解説	61	答案演習（３１）
29	答案演習（１５）	62	答案演習（３１）解説
30	答案演習（１５）解説	63	答案演習（３２）
31	答案演習（１６）	64	答案演習（３２）解説
32	答案演習（１６）解説	65	まとめ
33	答案演習（１７）		

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	法律答案演習Ⅳ		
実務家教員			
学部・学科	法律ビジネス科２年制		
履修年次	２年次		
開講学期	通年		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	１１０時間		
授業コマ数	５５コマ（１コマ１２０分）		
授業概要	２年次実施科目の知識をアウトプットし応用知識の定着を図る。		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。		
達成目標	２年次実施科目の問題演習につき、６割の正答率を目指す。		
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書		
特記			
授業計画	1	答案演習（１）	29	答案演習（１５）
	2	答案演習（１）解説	30	答案演習（１５）解説
	3	答案演習（２）	31	答案演習（１６）
	4	答案演習（２）解説	32	答案演習（１６）解説
	5	答案演習（３）	33	答案演習（１７）
	6	答案演習（３）解説	34	答案演習（１７）解説
	7	答案演習（４）	35	答案演習（１８）
	8	答案演習（４）解説	36	答案演習（１８）解説
	9	答案演習（５）	37	答案演習（１９）
	10	答案演習（５）解説	38	答案演習（１９）解説
	11	答案演習（６）	39	答案演習（２０）
	12	答案演習（６）解説	40	答案演習（２０）解説
	13	答案演習（７）	41	答案演習（２１）
	14	答案演習（７）解説	42	答案演習（２１）解説
	15	答案演習（８）	43	答案演習（２２）
	16	答案演習（８）解説	44	答案演習（２２）解説
	17	答案演習（９）	45	答案演習（２３）
	18	答案演習（９）解説	46	答案演習（２３）解説
	19	答案演習（１０）	47	答案演習（２４）
	20	答案演習（１０）解説	48	答案演習（２４）解説
	21	答案演習（１１）	49	答案演習（２５）
	22	答案演習（１１）解説	50	答案演習（２５）解説
	23	答案演習（１２）	51	答案演習（２６）
	24	答案演習（１２）解説	52	答案演習（２６）解説
	25	答案演習（１３）	53	答案演習（２７）
	26	答案演習（１３）解説	54	答案演習（２７）解説
	27	答案演習（１４）	55	まとめ
	28	答案演習（１４）解説		
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業論文			
実務家教員				
学部・学科	法律ビジネス科２年制			
履修年次	２年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	演習			
授業時間	１５０時間			
授業コマ数	７５コマ（１コマ１２０分）			
授業概要	法律学の中から特定のテーマを選択し論文を作成する。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	２万字以上で選択テーマにおける論点を幅広く検討する。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	39	論文作成（２８）
	2	テーマ別講義（１）	40	論文作成（２９）
	3	テーマ別講義（２）	41	論文作成（３０）
	4	テーマ別講義（３）	42	中間発表（３）
	5	テーマ別講義（４）	43	論文作成（３１）
	6	テーマ別講義（５）	44	論文作成（３２）
	7	テーマ別講義（６）	45	論文作成（３３）
	8	テーマ別講義（７）	46	論文作成（３４）
	9	テーマ別講義（８）	47	論文作成（３５）
	10	論文作成（１）	48	論文作成（３６）
	11	論文作成（２）	49	論文作成（３７）
	12	論文作成（３）	50	論文作成（３８）
	13	論文作成（４）	51	論文作成（３９）
	14	論文作成（５）	52	論文作成（４０）
	15	論文作成（６）	53	中間発表（４）
	16	論文作成（７）	54	論文作成（４１）
	17	論文作成（８）	55	論文作成（４２）
	18	論文作成（９）	56	論文作成（４３）
	19	論文作成（１０）	57	論文作成（４４）
	20	中間発表（１）	58	論文作成（４５）
	21	論文作成（１１）	59	論文作成（４６）
	22	論文作成（１２）	60	論文作成（４７）
	23	論文作成（１３）	61	論文作成（４８）
	24	論文作成（１４）	62	論文作成（４９）
	25	論文作成（１５）	63	論文作成（５０）
	26	論文作成（１６）	64	中間発表（５）
	27	論文作成（１７）	65	論文作成（５１）
	28	論文作成（１８）	66	論文作成（５２）
	29	論文作成（１９）	67	論文作成（５３）
	30	論文作成（２０）	68	論文作成（５４）
	31	中間発表（２）	69	論文作成（５５）
	32	論文作成（２１）	70	論文作成（５６）
	33	論文作成（２２）	71	論文作成（５７）
	34	論文作成（２３）	72	論文作成（５８）
	35	論文作成（２４）	73	論文作成（５９）
	36	論文作成（２５）	74	論文作成（６０）
	37	論文作成（２６）	75	論文完成
	38	論文作成（２７）		
成績評価方法 (試験実施方法)	論文内容100%　形式面・内容面を総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	公務員の全般的な仕事を理解し、公務に必要なマナー・応対力・一般常識の基礎を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	公務員の業務内容を理解し、公務員を目指す者として相応しい学生になる	
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	公務員全般ガイダンス
	2	公務員職種別ガイダンス1
	3	公務員職種別ガイダンス2
	4	公務員職種別ガイダンス3
	5	公務員試験研究
	6	面接の基本
	7	入退室の仕方、身嗜みチェック
	8	模擬面接1（初級効果測定）
	9	公務員試験成功体験ガイダンス
	10	自己分析
	11	自己ＰＲ作成
	12	面接質問項目（想定質問）
	13	受験先研究
	14	志望動機作成
	15	模擬面接2（中級効果測定）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	物権法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）
授業概要	物権法の基礎知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 物権法概論 2 物権の効力・物権的請求権 3 物権変動①（不動産） 4 物権変動②（動産） 5 所有権・占有権 6 用益物権 7 担保物権①（抵当権） 8 担保物権②（先取特権、質権、根抵当権、非典型担保）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	親族・相続法Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）
授業概要	親族・相続法の基礎知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 家族法概論 2 夫婦関係①（婚姻） 3 夫婦関係②（離婚） 4 親子関係 5 後見・保佐・補助、扶養 6 相続①（相続人・相続の効力） 7 相続②（相続の承認・放棄、財産分離、相続人不存在） 8 相続③（遺言、配偶者の居住権、遺留分）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政法総論
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）
授業概要	行政法の基礎知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 行政法の基礎、基本原理 2 行政行為 3 行政立法、行政契約、行政計画 4 行政指導 5 行政調査、情報管理・公開・保護制度、行政の義務履行確保制度 6 行政争訟① 7 行政争訟② 8 国家補償
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	民事訴訟法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）
授業概要	民事訴訟法の基礎知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 民事訴訟の流れ・解釈原理 2 訴訟の主体 3 訴えの開始 4 訴訟の審理① 5 訴訟の審理② 6 訴えの終了 7 複雑訴訟形態 8 上訴・再審、略式訴訟手続
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	工業所有権法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）
授業概要	工業所有権法の基礎知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 工業所有権法とは 2 特許法１（出願１） 3 特許法２（出願２） 4 特許法３（特許権の効力） 5 特許法４（特許権の侵害１） 6 特許法５（特許権の侵害２）・実用新案法 7 商標法 8 意匠法・不正競争防止法
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	裁判法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	裁判法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	裁判法とは
	2	最高裁判所の概要と任務
	3	国民の司法参加制度
	4	抗告訴訟の類型
	5	刑事訴訟・民事訴訟の流れ
	6	被疑者・被告人の権利と制度趣旨
	7	裁判官の身分保障と裁判官の解任手続
	8	犯罪の国際化と刑事手続
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法学入門
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	法学入門の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 憲法とは、統治総論 2 国民主権、天皇 3 選挙制度・選挙権 4 国会 5 内閣 6 裁判所 7 地方自治、戦争放棄と自衛隊 8 人権保障の仕組み 9 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離 10 表現の自由と知る権利、集会・結社の自由 11 職業選択の自由、財産権 12 刑事手続上の権利 13 生存権、教育を受ける権利、勤労の権利と労働基本権
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	私法入門Ⅰ（財産法）
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	私法入門Ⅰ（財産法）の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 私法入門総論 2 人 3 法律行為総論 4 意思表示 5 代理 6 時効 7 物権総論 8 担保物権 9 債権の効力 10 多数当事者の債権債務関係 11 債権の消滅 12 契約総論、契約各論 13 不法行為
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	私法入門Ⅱ（家族法）
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	私法入門Ⅱ（家族法）の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 婚姻の成立 2 婚姻の効果 3 離婚の成立 4 離婚の効果 5 親子 6 親権、子の保護 7 成年後見 8 扶養 9 相続の意義、相続人 10 相続分 11 相続の承認・放棄、相続財産の範囲と遺産分割 12 遺言、遺留分 13 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	外国人の地方参政権
	2	私人間効力
	3	自己決定権
	4	法定相続分差別
	5	夫婦同氏制
	6	職務命令と思想・良心の自由
	7	政教分離
	8	少年事件の推知報道
	9	プライバシーと表現の自由
	10	生命科学研究の自由と倫理
	11	適正配置規制
	12	免許制・資格制
	13	予防接種禍と国家補償
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律学特講Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 失踪宣告の取消しと現存利益 2 成年後見制度 3 民法９４条２項類推適用 4 他人物売買と無権代理 5 無効と取消し 6 取得時効と登記 7 背信的悪意者排除論 8 相続と新権原 9 抵当権に基づく抵当不動産の明渡請求 10 譲渡担保 11 代理受領 12 債務不履行の態様 13 不動産賃借権
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済社会学特講Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	経済学・社会学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	日本の経済・財政事情１
	2	日本の経済・財政事情２
	3	日本の経済・財政事情３
	4	GNPの決定
	5	需要と供給１
	6	需要と供給２
	7	経済成長
	8	国際経済１
	9	国際経済２
	10	租税・公債１
	11	租税・公債２
	12	経済と物価
	13	財政・金融政策
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語基礎	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	中国語の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	中国語言語学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	発音①（声調・短母音）
	2	発音②（子音・複母音・鼻母音・声調変化）
	3	自己紹介をする
	4	電話を掛ける
	5	約束・予定を決める
	6	カフェ・レストランで注文をする
	7	道案内をする
	8	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語読解	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	中国語の応用知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	中国語言語学分野の応用知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	発音①（声調・短母音）
	2	発音②（子音・複母音）
	3	発音③（鼻母音・声調変化）
	4	発音④（まとめ）
	5	自己紹介をする
	6	電話を掛ける
	7	約束・予定を決める
	8	カフェ・レストランで注文をする
	9	道案内をする
	10	観光地・名産品を紹介する
	11	ショッピングをする
	12	相手を褒める
	13	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語読解	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	英語読解の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	英語読解の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	英文読解（日本昔話）
	2	英文読解（アメリカの歴史）
	3	英文読解（小説）
	4	英文読解（日本人とアメリカ人の違い）
	5	英文読解（日本人論）
	6	英文読解（著名人）
	7	英文読解（アメリカの文化・生活習慣）
	8	英文読解（日本経済）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英語総合
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	基礎的な文法・語彙を取得し、発信型の英語力を養成する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	語彙・文法力・読解力・聴解力といった総合的英語力の伸長。
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 発音ルール１と日常会話表現１ 3 発音ルール２と日常会話表現２ 4 発音ルール３と日常会話表現３ 5 発音ルール４と日常会話表現４ 6 発音ルール５と日常会話表現５ 7 発音ルール６と日常会話表現６ 8 英語の歌 9 英語のドラマ 10 有名人のスピーチ１ 11 有名人のスピーチ２ 12 有名人のスピーチ３ 13 英語で自己紹介
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	物権法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３８時間	
授業コマ数	１９コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	物権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	物権法の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	親族・相続法演習
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	７０時間
授業コマ数	３５コマ（１コマ１２０分）
授業概要	親族・相続法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。
達成目標	親族・相続法の問題演習につき、６割の正答率を目指す。
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 問題演習（１） 2 問題演習（１）解説 3 問題演習（２） 4 問題演習（２）解説 5 問題演習（３） 6 問題演習（３）解説 7 問題演習（４） 8 問題演習（４）解説 9 問題演習（５） 10 問題演習（５）解説 11 問題演習（６） 12 問題演習（６）解説 13 問題演習（７） 14 問題演習（７）解説 15 問題演習（８） 16 問題演習（８）解説 17 問題演習（９） 18 問題演習（９）解説 19 問題演習（１０） 20 問題演習（１０）解説 21 問題演習（１１） 22 問題演習（１１）解説 23 問題演習（１２） 24 問題演習（１２）解説 25 問題演習（１３） 26 問題演習（１３）解説 27 問題演習（１４） 28 問題演習（１４）解説 29 問題演習（１５） 30 問題演習（１５）解説 31 問題演習（１６） 32 問題演習（１６）解説 33 問題演習（１７） 34 問題演習（１７）解説 35 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法総論演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	４８時間	
授業コマ数	２４コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	行政法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	行政法の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	問題演習（１０）
	20	問題演習（１０）解説
	21	問題演習（１１）
	22	問題演習（１１）解説
	23	問題演習（１２）
	24	問題演習（１２）解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民事訴訟法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	５４時間	
授業コマ数	２７コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	民事訴訟法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	民事訴訟法の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	問題演習（１０）
	20	問題演習（１０）解説
	21	問題演習（１１）
	22	問題演習（１１）解説
	23	問題演習（１２）
	24	問題演習（１２）解説
	25	問題演習（１３）
	26	問題演習（１３）解説
	27	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	工業所有権法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	４８時間	
授業コマ数	２４コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	工業所有権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	工業所有権法の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	問題演習（１０）
	20	問題演習（１０）解説
	21	問題演習（１１）
	22	問題演習（１１）解説
	23	問題演習（１２）
	24	問題演習（１２）解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	裁判法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３４時間	
授業コマ数	１７コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	裁判法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	裁判法の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語基礎演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３８時間	
授業コマ数	１９コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	中国語の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	中国語の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語読解演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３８時間	
授業コマ数	１９コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	英語読解の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	英語読解の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	１５時間	
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分	
授業概要	実務経験のある講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	元横浜消防教官鎌田氏および官公庁関係者による公務員職に関する研究	
授業計画	1	消防職経験者講義１（消防官に求められる資質）
	2	消防職経験者講義２（自助・共助・公助）
	3	消防職経験者講義３（消防と我が人生）
	4	官公庁実務者講義１
	5	官公庁実務者講義２
	6	官公庁実務者講義３
	7	官公庁実務者講義４
	8	研究レポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	１５時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ６０分です）	
授業概要	官公庁に出向き、講師から得た知識を基に職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者による講義を基にした演習（福井県庁、福井税務署、裁判所など）	
授業計画	1	実務経験者における講義１
	2	実務経験者における講義２
	3	実務経験者における講義３
	4	実務経験者における講義４
	5	レポート作成１
	6	レポート作成２
	7	レポート作成３
	8	レポート作成４
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	法律 ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ボランティアの基礎知識 2 自治体とボランティア 3 ボランティア実体験① 4 ボランティア実体験② 5 ボランティア実体験③ 6 ボランティア実体験④ 7 ボランティア実体験⑤ 8 ボランティア実体験⑥ 9 ボランティア実体験⑦ 10 ボランティア実体験⑧ 11 ボランティア実体験⑨ 12 ボランティア実体験⑩ 13 ボランティア実体験⑪ 14 ボランティア実体験⑫ 15 ボランティアレポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	面接試験に向けての準備作業法を修得し、春試験2試験種に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成１
	2	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成２
	3	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成３
	4	面接講義
	5	面接効果測定
	6	模擬面接Ⅰ準備
	7	模擬面接Ⅰ準備
	8	模擬面接Ⅰ１
	9	模擬面接Ⅰ２
	10	模擬面接Ⅰ３
	11	模擬面接Ⅱ準備
	12	模擬面接Ⅱ準備
	13	模擬面接Ⅱ１
	14	模擬面接Ⅱ２
	15	模擬面接Ⅱ３
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）　　※８コマ目のみ６０分
授業概要	実務経験者の講義を受け、研究および発表を通じて地方行政の取り組みを学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	地方行政に関する基礎知識を身に付け、地元の発展に寄与する提案を発表し有識者からの評価を受ける。
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 地方行政の取り組み（講義） 2 地方行政の取り組み（講義） 3 課題研究１ 4 課題研究２ 5 課題研究３ 6 研究発表準備 7 研究発表プレゼンテーション 8 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	研究発表100%　研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
備考	福井県庁

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科２年制
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ６０分です）
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、地域行政に関してプレゼンテーションを行う
達成目標	地域行政に関する基礎知識を身に付け、地域の問題解決に寄与する提案を発表する。
教科書	なし
特記	福井市職員による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義① 2 実務経験者における講義②　個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 実務経験者における講義③（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅴ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	１５時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ60分です）	
授業概要	公安職(警察、消防、自衛隊、海保)に関する講義（または演習・実習）を行い、その講義（演習・実習）から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	講義（演習・実習）後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	各種公安職について、年度により変更される場合がある。	
授業計画	1	警察職・消防職・自衛官における講義１（または演習・実習）
	2	レポート作成１
	3	レポート作成２
	4	レポート作成３
	5	海上保安官における講義２（または演習・実習）
	6	レポート作成１
	7	レポート作成２
	8	レポート作成３
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 3 敬語とビジネス用語 4 応接・接遇のマナー 5 電話応対基礎編（講義） 6 電話応対基礎編（練習） 7 電話応対基礎編（実践練習） 8 電話応対応用編（講義） 9 電話応対応用編（練習） 10 電話応対応用編（実践練習） 11 伝言を含む電話応対（講義１） 12 伝言を含む電話応対（練習１） 13 伝言を含む電話応対（講義２） 14 伝言を含む電話応対（練習２） 15 伝言を含む電話応対（実践練習１） 16 伝言を含む電話応対（実践練習２） 17 効果測定準備 18 電話応対効果測定 19 冠婚葬祭のマナー 20 郵便のマナー 21 電話での道案内 22 クレーム対応 23-27 ビジネスマナー実務 28-30 ビジネスマナー総合
成績評価方法 （試験実施方法）	筆記試験および効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書作成	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	正しい日本語の使い方を理解し、ビジネス文書を作成出来るようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1	文字入力の基礎１
	2	ビジネス文書作成１（案内文）
	3	ビジネス文書作成２（案内文）
	4	ビジネス文書作成３（送付状）
	5	ビジネス文書作成４（送付状）
	6	ビジネス文書作成５（社内文書）
	7	ビジネス文書作成６（社内文書）
	8	ビジネス文書作成７（表作成）
	9	ビジネス文書作成８（表作成）
	10	ビジネス文書作成９（文章と表の組み合わせ）
	11	ビジネス文書作成１０（メール文章・メールの設定）
	12	正しい日本語１
	13	正しい日本語２
	14	正しい日本語３
	15	正しい日本語４
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による課題の出来栄え、授業への参加姿勢で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科２年制
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 パソコンの基本操作１ 2 パソコンの基本操作２ 3 パソコンの基本操作３ 4 パソコンの基本操作４ 5 パソコンの基本操作５ 6 パソコンの基本操作６ 7 OS/OFFICEの基本（座学） 8 WORDの基本操作１ 9 WORDの基本操作２ 10 WORDの基本操作３ 11 WORD効果測定 12 EXCEL基本操作１ 13 EXCEL基本操作２ 14 EXCEL基本操作３ 15 EXCEL効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	○
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習
授業計画	1 法律概論 2 民法①（講義） 3 民法課題研究 4 民法②（講義） 5 民法課題研究 6 憲法①（講義） 7 憲法②（講義） 8 憲法課題研究 9 行政法①（講義） 10 行政法②（講義） 11 行政法課題研究 12 刑法①（講義） 13 刑法課題研究 14 刑法②（講義） 15 刑法課題研究
成績評価方法 （試験実施方法）	研究成果をまとめたレポートの内容で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員	○	
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	災害対策の実例（講義）
	3	課題研究１
	4	課題研究２
	5	課題研究３
	6	課題研究４
	7	課題研究５
	8	課題研究６
	9	研究発表シナリオ作成１
	10	研究発表シナリオ作成２
	11	研究発表準備１
	12	研究発表準備２
	13	模擬プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 （試験実施方法）	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	債権法総論Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	債権法総論の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	債権の目的
	2	債権の効力（１）
	3	債権の効力（２）
	4	多数当事者の債権及び債務
	5	債権の譲渡
	6	債務の引受け
	7	債権の消滅（１）
	8	債権の消滅（２）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	債権法総論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	債権法総論の応用知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 債権の目的 2 債務不履行責任 3 債権者代位権 4 詐害行為取消権 5 連帯債権・連帯債務 6 保証債務 7 債権の譲渡 8 債務の引受け 9 弁済（１） 10 弁済（２） 11 相殺 12 更改・免除・混同 13 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	債権法各論
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	債権法各論の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 債権法の構造、債権各論とは 2 契約法序説 3 契約の成立 4 契約の効力（１） 5 契約の効力（２） 6 契約の効力（３） 7 売買（１） 8 売買（２） 9 賃貸借（１） 10 賃貸借（２） 11 賃貸借（３） 12 不法行為（１） 13 不法行為（２）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	不動産登記法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	不動産登記法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	不動産登記法の意義
	2	表示に関する登記と権利に関する登記
	3	登記はいかなる場合に必要か
	4	登記をすれば、どのような効力を生ずるか
	5	不動産賃借権と対抗要件
	6	物権変動と登記が特に問題となる場面（１）
	7	物権変動と登記が特に問題となる場面（２）
	8	登記と公信力
	9	登記が効力をもつための要件
	10	登記はどのように行われるか
	11	相続による登記
	12	仮登記
	13	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	刑法各論	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	刑法各論の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	刑法各論の概論
	2	犯罪論の基本原理と犯罪論体系
	3	刑法における人・社会・国家
	4	個人的法益に対する罪（１）殺人罪
	5	個人的法益に対する罪（２）傷害罪
	6	個人的法益に対する罪（３）逮捕監禁罪・住居侵入罪
	7	個人的法益に対する罪（４）財産罪総論
	8	個人的法益に対する罪（５）財産罪①窃盗・強盗
	9	個人的法益に対する罪（６）財産罪②詐欺・恐喝・横領
	10	社会的法益に対する罪（１）放火罪
	11	社会的法益に対する罪（２）わいせつの罪
	12	社会的法益に対する罪（３）偽造罪
	13	国家的法益に対する罪
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	著作権法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）
授業概要	著作権法の基礎知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 通則 2 著作物 3 著作者 4 著作財産権 5 著作者人格権 6 著作権の制限 7 著作隣接権 8 著作権の侵害
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会社法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	会社法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	会社法総論
	2	会社の設立・解散
	3	株式
	4	会社の機関①
	5	会社の機関②
	6	資金調達・計算
	7	組織再編①
	8	組織再編②、組織変更、持分会社、特例有限会社
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法社会学
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）
授業概要	法社会学の基礎知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 法社会学とは 2 法の概念 3 民事司法過程 4 刑事司法過程 5 行政過程 6 法社会学の理論１ 7 法社会学の理論２ 8 法社会学の最前線
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本法制史	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	日本法制史の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	人文科学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	西洋法の継受
	2	民法典論争
	3	明治期の地方制度
	4	近代的な土地所有権
	5	大正期の調停制度
	6	工場法の内容と意義
	7	国家総動員法の内容と意義
	8	日本国憲法の基本理念と定められた経緯
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	西洋政治史	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	西洋政治史の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	人文科学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	普仏戦争の経緯
	2	第一次世界大戦後のドイツの賠償問題
	3	イタリアにおけるファシズムの台頭
	4	ボストン茶会事件
	5	ロシアの東進政策
	6	ウェストファリア条約
	7	第一次ロシア革命
	8	ドイツの東西分裂
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	債権法総論演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６６時間	
授業コマ数	３３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	債権法総論の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	債権法総論の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	問題演習（１０）
	20	問題演習（１０）解説
	21	問題演習（１１）
	22	問題演習（１１）解説
	23	問題演習（１２）
	24	問題演習（１２）解説
	25	問題演習（１３）
	26	問題演習（１３）解説
	27	問題演習（１４）
	28	問題演習（１４）解説
	29	問題演習（１５）
	30	問題演習（１５）解説
	31	問題演習（１６）
	32	問題演習（１６）解説
	33	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法社会学演習
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	５２時間
授業コマ数	２６コマ（１コマ１２０分）
授業概要	法社会学の知識をアウトプットし知識の定着を図る。
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。
達成目標	法社会学の問題演習につき、６割の正答率を目指す。
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 問題演習（１） 2 問題演習（１）解説 3 問題演習（２） 4 問題演習（２）解説 5 問題演習（３） 6 問題演習（３）解説 7 問題演習（４） 8 問題演習（４）解説 9 問題演習（５） 10 問題演習（５）解説 11 問題演習（６） 12 問題演習（６）解説 13 問題演習（７） 14 問題演習（７）解説 15 問題演習（８） 16 問題演習（８）解説 17 問題演習（９） 18 問題演習（９）解説 19 問題演習（１０） 20 問題演習（１０）解説 21 問題演習（１１） 22 問題演習（１１）解説 23 問題演習（１２） 24 問題演習（１２）解説 25 問題演習（１３） 26 問題演習（１３）解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本法制史演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	４８時間	
授業コマ数	２４コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	日本法制史の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	日本法制史の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	問題演習（１０）
	20	問題演習（１０）解説
	21	問題演習（１１）
	22	問題演習（１１）解説
	23	問題演習（１２）
	24	問題演習（１２）解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	著作権法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	４８時間	
授業コマ数	２４コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	著作権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	著作権法の問題演習につき、６割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（１）
	2	問題演習（１）解説
	3	問題演習（２）
	4	問題演習（２）解説
	5	問題演習（３）
	6	問題演習（３）解説
	7	問題演習（４）
	8	問題演習（４）解説
	9	問題演習（５）
	10	問題演習（５）解説
	11	問題演習（６）
	12	問題演習（６）解説
	13	問題演習（７）
	14	問題演習（７）解説
	15	問題演習（８）
	16	問題演習（８）解説
	17	問題演習（９）
	18	問題演習（９）解説
	19	問題演習（１０）
	20	問題演習（１０）解説
	21	問題演習（１１）
	22	問題演習（１１）解説
	23	問題演習（１２）
	24	問題演習（１２）解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス法務理論
実務家教員	○
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３５時間
授業コマ数	１８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ６０分）
授業概要	実務経験者をお招きし、ビジネス法務関連知識を習得する。
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	実践的なビジネス法務の知識の定着
教科書	なし
特記	
授業計画	1 実務経験者における講義（１） 2 個人研究① 3 個人研究② 4 グループ研究① 5 グループ研究② 6 グループ研究③ 7 グループ討論① 8 グループ討論② 9 振り返り 10 実務経験者における講義（２） 11 個人研究① 12 個人研究② 13 グループ研究① 14 グループ研究② 15 グループ研究③ 16 グループ討論① 17 グループ討論② 18 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律学特講Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 ＧＰＳ捜査 2 接見指定 3 国家賠償責任の免除・制限 4 生存権の法的性格 5 教育を受ける権利と教育権 6 公務員の労働基本権 7 在外日本国民の選挙権 8 議員定数不均衡 9 選挙制度 10 集団的自衛権 11 裁判員制度 12 国民健康保険と租税法律主義 13 自治体の課税権
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	家事事件手続法
	2	同性パートナーシップと同性婚
	3	再婚禁止期間
	4	選択的夫婦別姓
	5	有責配偶者からの離婚請求
	6	離婚時の年金分割
	7	財産分与の対象
	8	面会交流の強制
	9	嫡出推定制度
	10	生殖補助医療
	11	特別養子縁組
	12	成年後見制度
	13	特別縁故者の範囲
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済社会学特講Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	経済学・社会学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	日本経済と労働事情１
	2	日本経済と労働事情２
	3	雇用関係（雇用・失業）
	4	雇用関係（賃金・労働時間）
	5	社会保険制度１
	6	社会保険制度２
	7	財政制度と社会保険１
	8	財政制度と社会保険２
	9	社会政策の国際的統一化
	10	国際労働基準１
	11	国際労働基準２
	12	国際労働条約の経済効果
	13	社会政策の本質
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会保障法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	社会保障法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	社会保障法総論
	2	公的医療保険①
	3	公的医療保険②
	4	介護保険
	5	年金保険①
	6	年金保険②
	7	年金保険③
	8	労災保険①
	9	労災保険②
	10	雇用保険①
	11	雇用保険②
	12	雇用保険③
	13	社会保障法まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費者保護法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	消費者保護法の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 消費者保護法総論 2 消費者契約法総論 3 誤認による取消し 4 困惑による取消し 5 不当条項規制 6 団体訴訟制度 7 消費者裁判手続特例法 8 訪問販売 9 電話勧誘販売、通信販売、業務提供誘因販売取引 10 連鎖販売取引、特定継続的役務提供、訪問購入 11 預金者保護法 12 利息法制 13 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	地方自治法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	地方自治法の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 地方自治法総論 2 地方公共団体の構成要素 3 地方公共団体（１）：地方公共団体の意義、普通地方公共団体① 4 地方公共団体（２）：普通地方公共団体② 5 地方公共団体（３）：特別地方公共団体 6 地方公共団体の事務（１）：機関委任事務制度の廃止 7 地方公共団体の事務（２）：自治事務と法定受託事務 8 条例（１）：条例制定権と条例制定手続 9 条例（２）：憲法・法律と条例の関係 10 地方公共団体の財務 11 地方自治と住民（１）：選挙、住民投票、直接請求 12 地方自治と住民（２）：住民監査請求、住民訴訟 13 長と議会の関係
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	労働法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年 １年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	労働法の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 労働法総論 2 労働契約と労働条件 3 就業規則と企業秩序 4 労働時間、休憩、休日、休暇 5 賃金 6 解雇、退職、雇止め 7 非正規雇用 8 母性保護と均等待遇 9 ハラスメント 10 労働者の安全衛生 11 労働災害と労働補償 12 労働組合の役割 13 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	私法入門Ⅲ（商法）
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	私法入門Ⅲ（商法）の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 商法の基本概念 2 商法の特色 3 商法の法源 4 商法の適用 5 商人 6 商行為 7 商人資格の取得および喪失時期 8 商法総則 9 商行為法 10 会社法：会社の意義、株式、機関、計算、訴訟 11 有価証券法（手形法・小切手法） 12 保険法 13 海商法
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公法入門
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	公法入門の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 裁判制度：裁判所組織と三審制 2 憲法の最高法規性：違憲立法審査権、違憲審査基準 3 人権総論：人権の歴史と内容、基本的人権の限界 4 幸福追求権：自己決定権、プライバシーの権利 5 法の下の平等：非嫡出子相続分差別事件 6 精神的自由：思想・良心の自由、信教の自由 7 表現の自由：表現の自由の優越的地位 8 学問の自由：大学の自治と学問研究の自由 9 人身の自由：刑事被告人、被疑者の権利 10 生存権：生存権の法的性格と生活保護受給権 11 労働基本権：公務員の労働基本権 12 参政権：選挙運動規制、外国人の地方参政権 13 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	親族・相続法Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	親族・相続法の応用知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 親族法総論 2 夫婦関係①（婚姻） 3 夫婦関係②（離婚） 4 親子関係①（実親子関係） 5 親子関係②（養親子関係） 6 後見・保佐・補助、扶養 7 相続法総論 8 相続人 9 相続の効力 10 相続の承認・放棄、財産分離、相続人不存在 11 遺言・遺産分割 12 配偶者の居住権、遺留分 13 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	刑事法入門
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	刑事法の基礎知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 刑事法とは 2 刑法総論１　刑法の諸原則・構成要件 3 刑法総論２　違法性・責任 4 刑法各論１　個人的法益に対する罪 5 刑法各論２　社会的法益に対する罪・国家的法益に対する罪 6 刑事訴訟法１　捜査 7 刑事訴訟法２　公訴 8 刑事訴訟法３　公判 9 刑事訴訟法４　証拠 10 刑事学１　我が国の犯罪状況 11 刑事学２　犯罪者 12 刑事学３　被害者 13 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	政治学入門	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	政治学の基礎知識や考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	政治学の基礎概念１
	2	政治学の基礎概念２
	3	現代社会と政治１
	4	現代社会と政治２
	5	政治過程論１
	6	政治過程論２
	7	政治過程論３
	8	政治制度論１
	9	政治制度論２
	10	政治思想と政治理論１
	11	政治思想と政治理論２
	12	政治思想と政治理論３
	13	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国際法入門	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	国際法の基礎知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	国際法とは
	2	国際公法１　条約
	3	国際公法２　国家
	4	国際公法３　国家責任
	5	国際公法４　国際法と個人
	6	国際公法５　国際紛争
	7	国際司法１　総論
	8	国際司法２　各論１
	9	国際司法３　各論２
	10	国際司法４　国際民事手続法
	11	国際連合
	12	国際人権法
	13	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財政学総論
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	財政学の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 財政制度 3 日本の財政事情１ 4 日本の財政事情２ 5 租税１ 6 租税２ 7 租税３ 8 公債１ 9 公債２ 10 地方財政 11 日本財政史 12 財政事情の国際比較 13 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会政策	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	社会政策の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	社会政策とは
	2	労働経済１　歴史
	3	労働経済２　雇用・失業
	4	労働経済３　賃金・労働時間
	5	労働経済４　労使関係・労災
	6	労働経済５　労働事情１
	7	労働経済６　労働事情２
	8	社会保障１　歴史
	9	社会保障２　医療保険
	10	社会保障３　年金保険
	11	社会保障４　介護保険
	12	社会保障５　労働保険
	13	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済原論	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	マクロ経済学の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	マクロ経済の測定
	2	短期１　経済規模
	3	短期２　貨幣と利子率
	4	短期３　政策効果
	5	短期４　国際マクロ経済１
	6	短期５　国際マクロ経済２
	7	長期１　消費
	8	長期２　貯蓄・投資
	9	長期３　経済成長
	10	長期４　物価と失業率
	11	長期５　物価と資産
	12	マクロ経済政策
	13	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアマネジメント
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科２年制
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２６時間
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）
授業概要	キャリア理論の基礎知識を習得する。
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション
達成目標	キャリア理論の基礎知識の定着
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト
特記	
授業計画	1 キャリアとキャリアマネジメント 2 なぜキャリアマネジメントが求められるのか 3 グループワーク①（自分を知る） 4 自身の未知の可能性を探る 5 自己理解を促進するコミュニケーションとは何か 6 キャリア理論①（スーパーの理論、ホランドの理論等） 7 キャリア理論②（イバーラの理論、シャインの理論等） 8 グループワーク②（キャリア理論を確認する） 9 各世代のキャリア開発について考察する 10 ダイバーシティとワークライフバランスについて考察する 11 カウンセリング・コーチング・ティーチングの基礎理論を学ぶ 12 グループワーク③（これからのキャリアマネジメント） 13 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	